

貯水池斜面の再評価

事 項	要 点	備 考
1 . 再評価方法	<p>1) 目的</p> <p>第2回委員会では、第1回委員会の再評価方針を受けて、地形特性調査（地形解析）、地質特性調査（地質踏査）及び既存資料の整理を実施した。また、これらの調査結果より、詳細調査候補地の抽出を行い、詳細調査を計画する。</p> <p>ただし、今回の検討範囲は、寺尾地区から人知地区までと井戸地区の左岸側であり、その他の地域については、今後随時検討するものである。</p> <p>2) 作業内容</p> <p>地形特性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/2,000、1/5,000 レーザ航測図の作成 1/5,000 陰影図の作成 地形解析：まず遷急線、遷緩線を、次いで段差状地形、滑落崖状地形、緩斜面を抽出する。 地形的要因からの評価 <p>地質特性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/2,000 地質図、ルートマップ図の作成 地質構造総括図の作成 地質解析：地質分布、地質構造 地質的要因からの評価 <p>既存資料の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存ブロックの再検討 <p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形的要因からの評価、地質的要因からの評価、既存資料の再検討から総合評価を行う。 詳細調査候補地の抽出 	

